



# 多様なバックグラウンドとニーズを備えた 博士学生およびポストドクターへの キャリア支援について

広島大学教育室グローバルキャリアデザインセンター 教育研究推進員 田中 圭子

令和7年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」

6月18日(水)14:30-15:00 キャリア教育・就職支援の取組 事例紹介【発表】



## 発表概要

高度な教育研究能力を備えた博士課程後期の学生および学位を取得して任期付きなどのポジションで勤務し就職活動を継続している若手研究者は、学部生や修士課程の学生に比べて、年齢だけでなくライフイベントを含む社会経験が多様である場合がある。一方で、アカデミア以外での就職を目指す場合には、指導教員やキャリアセンター職員などによる指導助言を行うことが、ミスマッチや就職困難を防ぐ上で効果的と見られる場合もある。また、いわゆる「英語トラック」により渡日して博士課程後期に進学した留学生や学位を取得して数年内の外国人若手研究者の中には、日本での就職に「日本語バリア」や文化の違いに由来する困難を抱えている人材がまま見られる。

本発表では、発表者が従来行っているキャリア支援活動とその成果についてご紹介しながら、経歴や言語、文化の多様な博士人材がキャリア目標を達成する上で課題になっていると見られることや、それらの＜ブレイクスルー＞に有効と見られた対応、また、そうしてキャリア目標を達成した若手研究者らの就職後の課題等についてもご紹介しながら、皆様と一緒に、博士学生およびポストドクターのキャリア支援について考えてみたい。

※本発表では、個別の事例をスライドに文字化して示さず、口頭により紹介します。



## 博士学生／ポスドクを対象とした主なキャリア支援活動

- [キャリア相談](#)（個別面談／多言語／対面またはオンライン）
- 長期インターンシップ応募促進イベント（大学院共通科目「長期インターンシップ」オリエンテーション（「ジョブ型研究インターンシップ」学内説明会を兼ねる）／受入企業等との交流会「[長期インターンシップフェア](#)」／多言語／対面またはオンライン）
- アカデミア／産業界で活躍する修了生を講師に招いた就職体験報告会（「[HU Coffee Chats](#)」など／多言語／対面またはオンライン）
- 採用担当者を招いた交流会（「[キャリア交流会](#)」／多言語／対面またはオンライン）
- 外国人材向け日本語学習ワークショップ（“[Virtual Workshop to Learn Basic Japanese for the young IT Professionals](#)”／多言語／無料／オンライン）



## 日本人 博士学生／ポスドク からのキャリア相談とキャリア支援 1/3

多様な相談内容：

- **キャリア不安**： 就職活動の方法が分からず、将来のキャリアパスも不透明で、不安を抱えている。
- **スキルと仕事のミスマッチ**： 専門知識やスキルをどこでどう活かせるか分からず、社会が求めるものと自分の関心やスキルとのギャップに悩んでいる。
- **周囲の期待との葛藤**： 指導教員や家族からの期待と、自分の希望との間で葛藤がある。
- **研究室環境の悩み**： 指導教員とのコミュニケーション不足や、研究室の人間関係に悩んでいる場合がある。
- **就職活動の制約**： 結婚に伴う経済的な事情、障がい、地方在住などの制約がある。



## 日本人 博士学生／ポスドク からのキャリア相談とキャリア支援 2/3

キャリア支援担当から見た就職活動時のポジティブ／ネガティブ要因：

- **全体的な状況**： 就職活動の厳しさや競争の激しさに対するネガティブな感情が強い。謙虚さや慎重さを備える反面、自己評価の低さや自信のなさ、就職活動の遅れや選考突破の困難につながっている。
- **ポジティブな側面**： 自分の就職活動についての認識や経験値には改善の余地があるという認識があり、具体的なアドバイスやサポートを求めている。
- **ネガティブな側面**： 学歴や研究内容への評価のむつかしさ、企業が求める人物像とのミスマッチ、地方在住による機会の不均等といった構造的な問題に直面している。



## 日本人 博士学生／ポスドク からのキャリア相談とキャリア支援 3/3

### キャリア支援の 成果

- **総合的な成果：** 志望する分野の人材や採用担当者と交流。働き方や応募方法の情報収集、インターンシップへの参加や応募書類・面接対策を行い、選考突破の可能性を高めた。さらに、不安や悩みの相談や、多様なキャリアの検討、学位後の進路準備も進められた。
- **ポジティブな側面：** 具体的なアドバイスや模擬面接、企業紹介などを通じて、就職活動のスキルが向上した。
- **ネガティブな側面：** 自力で就職活動を行う場合、依然として内定を得るまでの道のりは長く、継続的なサポートが必要である。



## 外国人博士学生／ポスドクからのキャリア相談とキャリア支援 1/3

### 多様な相談内容

- **就活方法の質問：** 日本語能力や自動翻訳機能を活用して情報収集しても、日本での就職活動の進め方がわからない。
- **求人情報提供への要望：** 自分のスキルや希望に合った求人情報を探してほしい。
- **応募書類と面接対策：** 日本語による応募書類の書き方や面接での応対に自信がない。
- **キャリア選択の悩み：** アカデミアと産業界のどちらに就職すべきか、専門を活かせる仕事は何か、自分を歓迎してくれる事業所はどこかが分からず、悩んでいる。
- **日本での生活：** キャリアと育児・家事の両立、安定的な在留資格の取得など、日本での生活に不安がある。



## 外国人博士学生／ポスドクからのキャリア相談とキャリア支援 2/3

### キャリア支援担当から見た就職活動時のポジティブ／ネガティブ要因

- **全体的な状況：** 留学生の就職活動は、多くの困難を抱えるものの、大学や家族の支援を得る事ができれば、日本人学生にない強みを発揮してそれらを乗り越えることができる。
- **ポジティブな側面：** 高い研究能力、日本語能力、適応意欲、自己PR能力、専門分野外のスキル、柔軟な居住地選択、家族のサポート。
- **ネガティブな側面：** 言語・資格の壁、地域・家庭の事情、ライフイベントとの両立の難しさ、キャリアプランのミスマッチ、宗教・政治的背景による制約。



## 外国人博士学生／ポスドクからのキャリア相談とキャリア支援 3/3

### キャリア支援の成果

- **総合的な成果**： キャリアセンターの支援によって、自己PRやコミュニケーションのスキルが向上。インターンシップや企業見学にも参加して、企業とのマッチングが改善され、内定獲得に近づいた。
- **ポジティブな側面**： 日本語学習支援、国際化推進担当部局と連携してのビザに関するアドバイス、模擬面接、企業紹介など、具体的なサポートが効果を発揮している。
- **ネガティブな側面**： 母国やその周辺国でなく日本で就職活動を行う場合、依然として言語や文化の壁は高く、継続的なフォローアップが必要である。



## 博士学生／ポスドクに対するキャリア支援を通じて得られた気付き

- **日本人と外国人に共通する状況**: 博士学生／ポスドクは、学位取得後の進路を模索しようとする場合、就職活動の方法や産業界とのつながりが不足していると、進路に不安を感じる。出身国／地域や家族構成、社会での経験値、研究環境などの相違も影響して、それぞれに多種多様な悩みや課題を抱えながらも、キャリアセンターによる個別の支援によって、ポジティブな変化を経験している。
- **ネガティブな側面の要因**: **日本人**博士学生／ポスドクは自己分析やキャリアプランニングの不足、**外国人**博士学生／ポスドクは日本語や文化の壁が主な悩みである。
- **効果的な支援の方向性**: キャリアセンターは、**日本人と外国人**の博士学生／ポスドクに対して、アカデミアだけでなく産業界の紹介や採用担当との交流にもつながる機会を提供する。一方で、**日本人**博士学生／ポスドクに対しては、自己の弱みや強みの自己分析と、それに応じたキャリアプランニングを行うような機会を提供し、**外国人**博士学生／ポスドクに対しては、日本語学習の重要性や文化の理解につながるような機会を提供することで、より効果的な支援が可能になる。



# ご清聴ありがとうございました

広島大学教育室グローバルキャリアデザインセンター 教育研究推進員 田中 圭子